

大東建託グループの太陽光発電向け遠隔監視システム導入について

株式会社エナリス（本社：東京都足立区、社長：池田元英）と大東建託グループの大東建物管理株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：門内仁志）は、この度、太陽光発電の遠隔監視システム導入について合意致しました。

大東建物管理株式会社は、同社が管理するアパート・マンションにおいて太陽光発電事業を展開されており、2014年9月末までに3,500拠点を設置完了、その後も更なる拡大を計画されています。

エナリスは、これら3,500拠点への遠隔監視システムの導入を受託し、同社の取り組みを全面的にサポートしていきます。

遠隔監視システムは BEMS (Building Energy Management System) として開発した「FALCON SYSTEM」を応用したもので、以下の機能を有します。

1) 発電量監視

- ・発電量モニター（いつでも、どこでも、見える化、見せる化）
- ・発電量レポート（日次、週次、月次、過去比較）

2) 異常検知

- ・シミュレーション比較（理論値、気象情報等からの予測値）
- ・発電量低下異常警報サービス
- ・発電診断サービス

3) 収支管理（大東建物管理株式会社のための専用サービス）

- ・太陽光発電事業の家計簿機能
- ・再生可能エネルギー発電設備設置・運転費用年報作成データ提供サービス

エナリスは、本件取引を皮切りに、今後、大東建託グループの電力調達方法等についても提案して参ります。

【発電量モニターイメージ図】



《本件に関するお問い合わせ先》

株式会社エナリス 経営管理本部 広報・IR担当
電話：03-5284-8326 メール：info@eneres.co.jp